

はーと&はーと

東海市国際交流協会会報 (No. 170)



「風をとらえて」(東海市体育館前)

地球の仲間たち

ウクライナからのご近所さん

池田 雅代

東海市国際交流協会では、いろいろな国の方が日本語を学習しています。職業は会社員、自営業、主婦などで年齢も小学生から大人まで様々です。そんな中ウクライナから避難してきた家族がみえました。突然の侵攻で何の準備もないまま、日本で生活することになったのです。そこでウクライナ支援の日本語教室が立ち上げられ、私もその仲間に加わりました。

この家族は日本語が全く話せません。学校や買い物などの身近なことから始めました。挨拶、時計やカレンダーの読み方、食べ物や衣類の名前、ひらがなもカタカナもと覚えることばかりでした。途中休憩時間を取ろうとしても「休まなくても大丈夫」と休まなく学習し、家でもしっかり復習されていました。

私はたまたまこの家族の近くに住んでおり、教室以外でも出会うことができました。スーパーのレジで並んだり、電車に乗ったら偶然栄まで一緒だ

ったりといった具合です。

中でも印象深いのは、警報がでている大雨の中、学習場所である商工センターには行けず、急遽我が家の前にある地域交流の家で勉強した時のことです。片隅を使わせていただけないかと館長さんをお願いしたら快諾して下さいました。ウクライナの方は覚えてたての日本語で明るく自己紹介をし、スタッフの皆さんも身振り手振りをつけて、「応援してます、頑張ってください」と笑顔で話しかけてくれました。このことがきっかけで我が家の90歳を過ぎた母に会ってもらったり、5歳の孫と公園を散歩がてらお宅まで送ったりとささやかな交流をすることができました。

こんな経験から日本の生活に馴染みにくい時や落ち込んでいる時に声を掛けて助け合えるご近所さんができたらいいなあと思いました。まずは学校や仕事に慣れて生活の基盤が整われるようにと願っています。



“Do you have **something** on your mind?”

「何か気になることでもあるの？」

友人などが何となく元気がなかったり、浮かぬ顔をしていたらそれとなく尋ねてみましょう。

協会活動あれこれ I

第1回 Zoom でのしむ たぶんか交流開催

TIF 事業の一環として 10 月 20 日（日）に、小中学生を対象としたイベントを開催し、小学生 7 名、中学生 3 名とベトナム、ウクライナ、トルコ、ミャンマー、ネパール、カンボジア、中国からの外国人ほか 34 名の参加で Zoom による交流を楽しみました。参加者からは外国の話が聴けて楽しかった、今後も続けて欲しいなどの感想が寄せられ、反省点もふまえて今後につなげていきたいと思います。以下に参加者からの感想を紹介します。

コロナ禍で国際交流が制限される中、子どもたちに多文化理解の場を与えたいと企画し、今回 Zoom を使ったオンラインで実現できました。一方的な講義だけでなく、小さいグループで意見交換の場を設けることで、相互理解が深まったと思います。

実行委員 池内 千恵

オンラインでぼくは時差について初めて知りました。日本は昼 1 時だったけど日本から遠く離れているトルコは朝 7 時だったのでとてもおどろきました。

市川 聖（小 4）

皆さんとても丁寧に紹介してくれていたの、聞いたことのある国でも、知らないことが沢山あってとても勉強になりました。今回の講義が、将来何処かで生かしたらいいなと思いました。

小中 愛蒔（中 3）

多文化共生交流会に参加し、子どもたちに母国のことを紹介させていただいたことに感謝します。本当に楽しかったです。多文化共生が実現するために、このようなイベントは非常に重要だと感じました。

日本福祉大学ネパール留学生 TANGANAMI MAGAR MOHAN

ウクライナ人の特別日本語教室に参加して

ウクライナの状況はニュースで知る限りなので、ウクライナの方にどう接してよいのか不安でしたが、とても前向きで一生懸命な姿に感動しました。

スマホの翻訳機能を使いながら、ひらがな、カタカナと順次伝えてゆきました。それでもなかなか会話につながりませんでした。ある時気がついた事がありました。主婦目線で買い物や病院など日々の暮らしや日常的な会話を覚えてもらうことが一番必要で、それを伝える事が私の役目ではないかと思いました。少し分かり合えたときはお互い笑顔になり、とても嬉しかったです。

お役に立てたかは自信がありませんが、これからも私ができる小さなお手伝いを続けていきたいと思っています。厳しい状況の中頑張っているウクライナの方々にも一日でも早く平和が戻ります様心から祈っています。 大賀 廣子

ウクライナ人の特別日本語教室に参加して学んだこと

私は普段活動している日本語教室を通じて、今年の春から「ウクライナ人の特別日本語教室」に参加しました。連日報道されるウクライナ情勢に対して自分にも何かできるなら、という気持ちからでした。教室が始まると、大切な故郷を離れて遠い異国の地での寂しさを抱えた方もいて、やるせない気持ちになることもありました。私は対話を通じて気持ちに寄り添うくらいしかできませんでしたが、学習者の皆さんが日本語学習に熱心に取り組まれている姿に私の方が勇気づけられました。また日本語の会話や読み書き以外にも嚶鳴庵でのお茶体験や着物体験等、日本文化に触れる機会も作り、学習者の皆さんが前向きに楽しんでくださって嬉しかったです。この半年間、支えてくださった皆さんのおかげで日本語を教えるだけでなく相手に寄り添って共に学ぶ大切さに気付きました。一刻も早くウクライナに平和が訪れることを願っています。

川島泰子

インターナショナルデーのスタッフに参加して

「500人超」 インターナショナルカフェに足を運んでいただきベトナムのお菓子とコーヒーまたは紅茶、ジュースを召し上がっていただいた人数である。予定数完売に至る大盛況であった。

私はスタッフの一員として初めてインターナショナルデーの運営に携わりました。アトラクションなし。世界の民族衣装の試着なし。DVDなし。世界の物品販売なし。なし、なし尽くしの中のコロナ感染予防を考慮しながらの運営準備でした。なしなし尽くしだからこそ、アイデアを出し合えた楽しい準備期間でもありました。

当日、一番人気だった民族衣装の試着に変わる等身大顔出しパネル。スイス、インドネシア、トルコ、ベトナムの民族衣装の等身大パネルに来客の方々が興味をもってくれました。「覗いてみて」「あ！かわいい」とシャッターを切るたびに親子の笑顔が会場内に広まっていくフォトスポットとなりました。

私たちスタッフがこのインターナショナルデーを準備段階から楽しんでやってきたことが、来ていただいた方々の笑顔に結びついたかなと思いました。みんなの笑顔を見たく、次回もスタッフで参加したいと思います。

中村 吉晴



貝の笛（モンゴル楽器）

協会活動あれこれ III

スタッフとしての楽しさ

私と国際交流協会の関りは、平成8年(1996年)にインドネシアに会員として研修に行ったことが始まりです。インドネシアでホームステイをしたり、王宮でガムラン音楽を習ったり、伝統芸能を鑑賞したりと普通ではできない体験をしました。その報告会という形で、当時のインターナショナルデーが行われたのです。バリ島の民族衣装を着たり、ジェゴクやアングルンなどの楽器を演奏・展示したり、紙面発表をしたりしました。

今年のインターナショナルデーはコロナ対策をしながらの開催でしたが、たくさんの方にお茶やベトナムのお菓子を楽しんでもらえました。また顔出しパネルでは、嬉しそうに写真撮影している姿が見られました。そしてスタッフとしての活動では、新しい人との出会いや、仕事を共有体験することで得られる楽しさがありました。改めて国際交流だなと感じた2日間でした。

本間 久美子



ジェゴク：長さ（音階）の異なる竹筒を並べ、木琴の様にバチで叩いて演奏する民族楽器。
アングルン：調律した2本か3本の竹を竹枠に入れ、動かして響かせる楽器

東海市探訪

手押しポンプを新設する庭

最近、加木屋地区の散歩コースで民家の建替え工事をよく見かけますが、工事が終了した庭に新しい手押しポンプを設置している家が4～5軒あります。昔ながらの古井戸は埋めてしまうものと思っていた私は興味がわいたので調べてみました。

水道関係の会社に訊くと、改修の際に埋めてしまう家もありますが、昔からあった井戸を埋めるのももったいないからと手押しポンプを設置する工事を何件か請け負ったことがあるようです。

設置主に改修の理由を聞いてみると、飲料には適しませんが洗濯などの生活水として使うようで、有事の備えとしての考えも多少はあるとのことでした。有事には近隣地域からあてにされるかもしれませんが、設置の際には市からの補助などがあるのかも聞きましたが、特にそのような援助はないようです。



(会報委員)

クリスマスといえば、ケーキです。この日は皆、円いケーキを囲んで・・・のイメージでしたが、クリスマスデコレーションケーキは日本独特のものと知り驚きました。始まりは100年くらい前、洋菓子メーカーの不二家が売り出したケーキとのことです。では、外国ではどんなお菓子があるのか探してみました。

今回はヨーロッパのキリスト教の国々で食べられている伝統的なものをご紹介します。

初めは、日本でも馴染みのあるフランスのブッシュ・ド・ノエルです。このケーキは、薄く焼いたスポンジをバタークリームで巻き、木の枝や薪をイメージして作られています。飾りは森のナッツや葉っぱ、キノコなどの形をしたお菓子で飾るのが一般的です。寒い冬の日、暖炉に焚く大切な薪をイメージしたケーキを囲み、家族や恋人と、暖かく過ごすとなると、幸せが伝わってきます。日本でもブッシュ・ド・ノエルは50年以上前から売られてきましたが、円形のデコレーションケーキの人気には勝てないようです。

次にドイツのシュトーレン。一段と見た目は地味ですが、これは中身が豪華です。ドライフルーツやナッツをたっぷり混ぜ込んで、馴染ませてから焼いたパンで、沢山のフルーツの贅沢な味が楽しめます。料理本には日曜ごとに少しずつ食べるとか、クリスマスまで毎日、薄く切って食べるなど書いてありました。最大の魅力は、だんだん残り少なくなるほど、美味しくなることです。1ヶ月間、一切れずつ味わいながらクリスマスを待つのも素敵な習慣だと思います。最近は食べやすくスライスしたものも売っています。

他に、イタリアのパネトーネというパンもありました。ドライフルーツ入りで(シュトーレンと比べたら少量)、日本の非常食用の缶入りパンに味が似ていました。どちらも日持ちが良い天然酵母のパネトーネを使っています。このパンはイタリアから南米にも伝わり、広く世界中で食べられているとのことです。

クリスマスのケーキに限らず、食べると暖かい気持ちになるお菓子。

どうか、今年のクリスマス、人々に平和と幸せが訪れますように。

竹内かず子



♡♡♡♡♡ 「はーと&はーと」開催！ ♡♡♡♡♡

☆「はーと&はーと」を2023年2月19日（日）[午前10時から午後3時]に東海市芸術劇場1階多目的ホールで開催します。

☆8か国のブースを設け、舞台では踊り、歌、楽器演奏、映像などで各国の文化を紹介します。

☆スタンプラリー参加者には素敵な景品を用意しています。

☆コロナ対策には万全を尽くして交流を楽しみましょう。

☆スタッフ、前日、当日のお手伝いを募集しています。

☆皆さんの力で成功させましょう。ご協力をお願いします。

副会長 久田洋子

世界のあれこれ * * * * *

外国にも切り絵はあるの？ 6

これまでに外国で知られている紙を切ることで表現するアートを紹介してきましたが、今回は日本の作品を紹介します。

板前さんは和食料理の飾りに葉ランを切って添えますが、見た目よく切るためには修業も大切で、色々な模様を切る練習が包丁さばきを上達させ、料理の腕をあげることになるようです。

現代ではプラスチック製の人造バランを材料にしてバランアートを制作する作家もいます。



= INFORMATION-1 =

ボランティア研修会参加者追加募集

『ボランティア活動で便利に使うスマホ勉強会』

日時：令和4年12月20日（火）13:30～15:00

場所：東海市立商工センター3階中会議室

対象：会員15名程度 申し込み12月15日（木）まで、先着順

講師：吉田哲男さん（いきいきPC講師）



はーと&はーとスタッフ募集

日時：令和5年2月19日（日）9:00～17:00 前日（18日）は午後のみ

※日時はスタッフの作業時間です。

場所：東海市芸術劇場1階多目的ホール

スタッフ、前日、当日のお手伝いを募集します。協会事務室までご連絡ください。

日本語教室

日時：第1・第3日曜日 14:00～16:00

第2・第4月曜日 19:00～20:30（オンライン授業）

場所：東海市立商工センター3階中会議室他



子どもといっしょに日本語教室

日時：第1・3木曜日 10:00～12:00

場所：しあわせ村研修室他

（託児を希望される方は事前にご連絡ください）



外国につながる子どもの学習支援教室

日時：事務室へお問い合わせください。

場所：東海市立商工センター3階中会議室他

外国から来た子どもに宿題や勉強を教えるボランティアを募集しています。

興味のある方は事務室にご連絡ください。

フェイスブックQRコード



在住外国人生活相談

英語、中国語またはタガログ語による生活一般相談

随時電話にて受け付けます。（予約制）ご希望の方は事前にご連絡ください。

※上記事業の詳細は事務室またはホームページ、フェイスブックでご確認下さい。

お問い合わせ等は協会事務室まで

open 月～金曜日 9:00～16:00（祝日はお休み）

協会事務室が留守の場合は市役所秘書課

TEL052-603-2211、0562-33-1111

ホームページ <http://www.medias.ne.jp/~tia/>

E-mail tia@ma.medias.ne.jp

発行日 令和4年12月1日

編集 東海市国際交流協会会報運営委員会

発行者 東海市国際交流協会

〒476-0013 東海市中央町四丁目2番地

TEL 0562-32-5339

FAX 0562-33-9029